

CHECK 1 令和 5 年度当初予算編成方針

日野町では、地方創生の実現に向け、「保健・医療・福祉の充実」「地域資源を活かした産業の振興」「教育・子育ての充実」の3本柱を掲げ、さまざまな取り組みを進めてきました。

町では、これまでの課題と反省を踏まえ、令和2年度より新たな地方創生戦略「第2次きらり日野町創生戦略」を実施。「若者・子どもが住む未来へつながる持続可能なまち」「住民が生きがいをもって自ら考え実行する住民主導のまち」「地域資源を活用した賑わいのあるまち」「みんなの笑顔が光る安心安全なまち」の4つを基本となる視点として掲げ、「集落機能の維持・移住・定住」「子育て・幼児教育」「学校教育・社会教育」「産業・雇用」「まちづくり」「保健・医療・福祉」「防災・減災」の7つの分野を柱に取り組みを継続していきます。

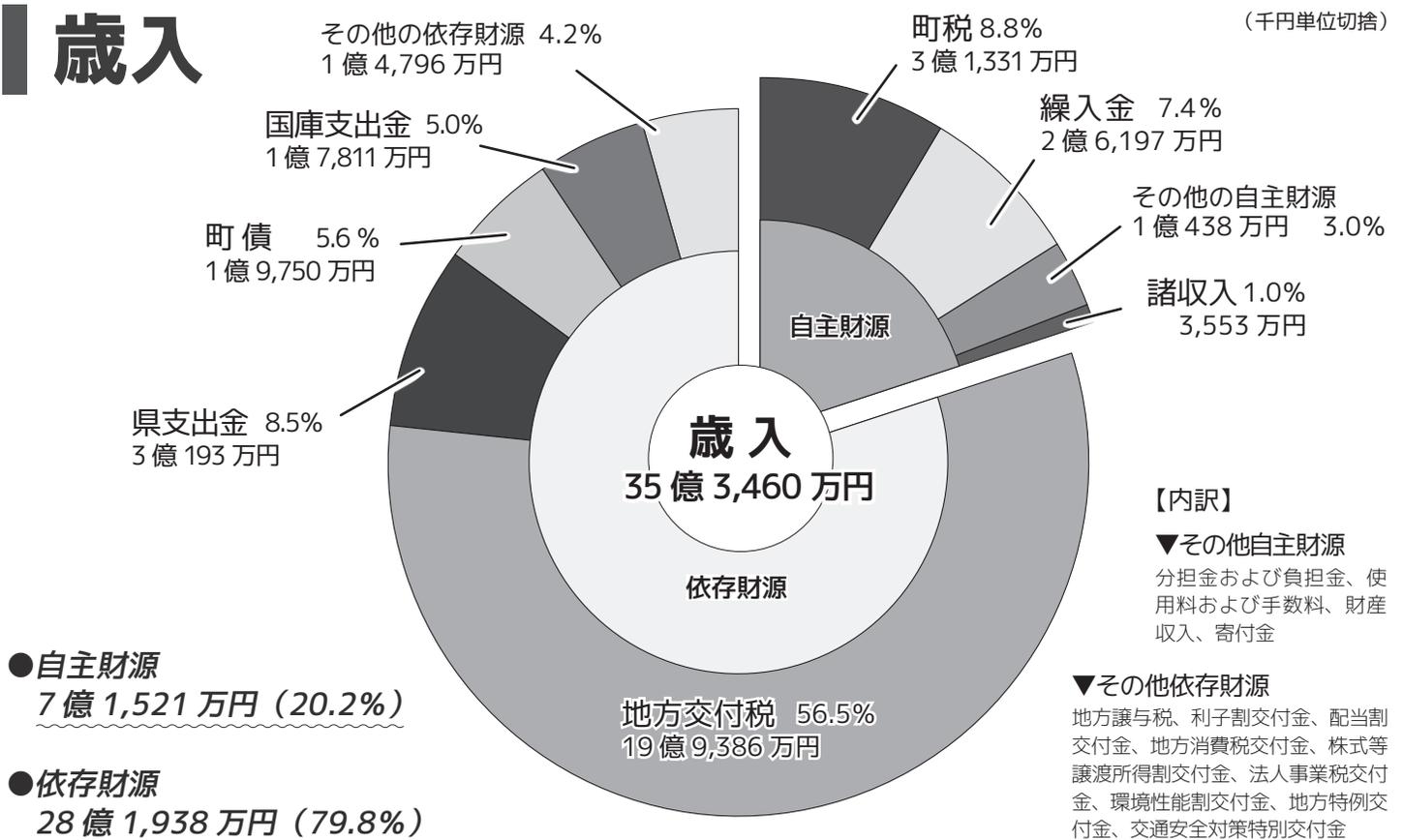
町民の皆さんが住んでよかったと思えるまち、将来を担う子どもたちが誇りを持って引き継げるまちづくりを積極的に進めていきます。

CHECK 2 一般会計予算総額は 35 億 3,460 万円（前年度比 4.6%増）

☑ 一般会計

歳入全体を詳しく見ていくと、
・町自らの手で得られる「自主財源」は、主に町民税や固定資産税、軽自動車税などの町税や使用料などで、約7億1,521万円（20.2%）。
・地方交付税などの国や県に依存する「依存財源」は、約28億1,938万円（79.8%）。特に、国から交付される地方交付税は19億9,386万円と、歳入の約56.5%と大きな割合を占めています。そのほか、県支出金が8.5%、町債が5.6%、国庫支出金が5.0%と続きます。
財政の健全化、そして限られた予算の中で、町の特色を生かしたまちづくりが求められています。

歳入



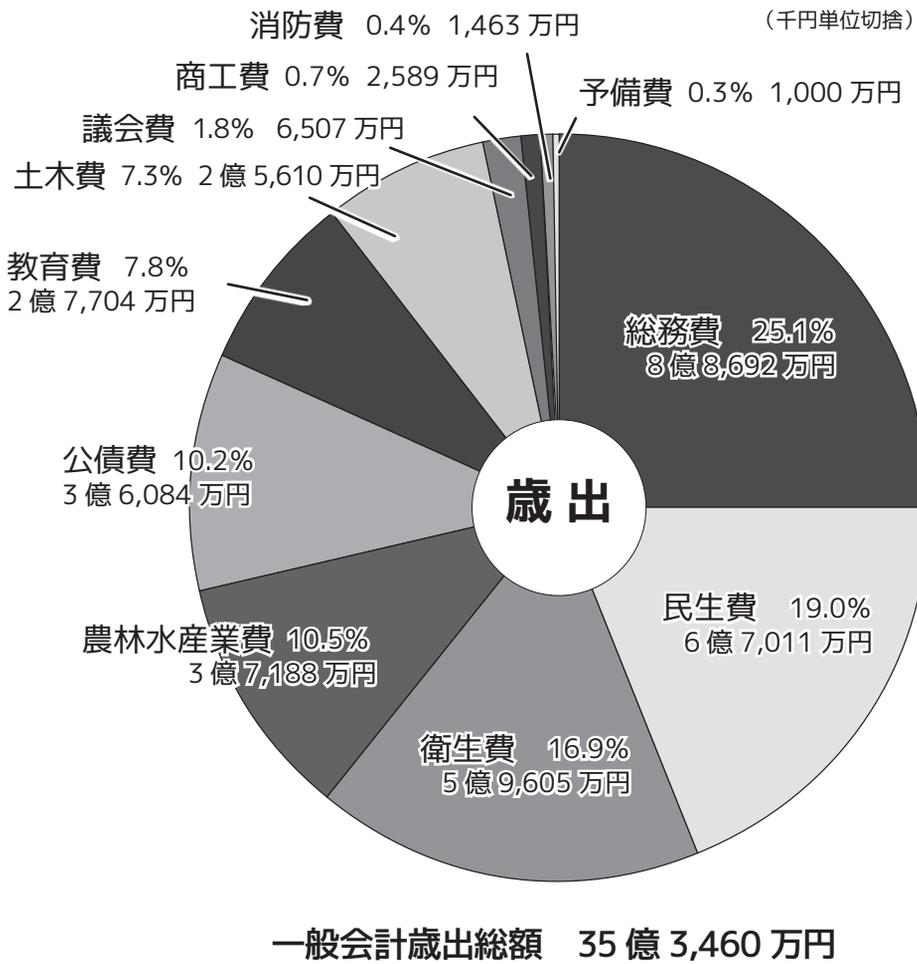
歳出

令和5年度は、令和元年度に策定し令和2年度から実施した「第2次きらり日野町創生戦略」を基軸に、日野町における地方創生の実現を目指し、さまざまな課題の解決に向けた施策を展開していきます。

・歳出全体に占める割合でみると、一番大きな割合を占めるのが、庁舎管理や防災、移住定住・空き家対策などの総務費で、約8億8,692万円(25.1%)。今年度は、地域情報化として、高齢者向けスマートフォンの購入補助や相談員・支援員の配置など、誰もがデジタル技術の活用を通して便利で安心な生活が送れる体制を構築できるよう取り組みます。

・学校教育や公民館運営などに使われる教育費は、約2億7,704万円(7.8%)。今年度は、新たに開校した義務教育学校「日野学園」の運営や、日野高校の魅力化に取り組めます。

・そのほか、保健・医療・福祉、地域資源を生かした産業振興、観光振興などの充実を図ります。



CHECK 国民健康保険、介護保険、水道 etc…。特定の目的を持った会計

町の予算には、一般会計とは別に運営される6つの特別会計があり、当初予算の総額は13億7,355万4千円(前年比1.8%減)です。

特別会計は、収支のバランスを取るため、一般会計からたくさんのお金を繰り出しています。今年度は、2億6,460万7千円。国民健康保険や介護保険の給付にかかわる繰り出し金は、前年度より増額、簡易水道や公共下水道事業、農業集落排水事業も増額となっています。

町では、この繰り出し金を少しでも減らすため、公共下水道や農業集落排水への加入促進を行っています。このほか、介護予防や健康づくりによる医療費抑制に取り組んでいますので、ご協力ください。

☑ 特別会計

会計名	本年度当初	前年度比
国民健康保険	4億331万7千円	△4.0%
介護保険	6億7,211万9千円	0.3%
後期高齢者医療保険	5,773万1千円	△8.1%
簡易水道	9,862万6千円	7.2%
公共下水道事業	9,916万円	△5.6%
農業集落排水事業	4,260万1千円	△12.7%
合計	13億7,355万4千円	△1.8%

◆次ページでは、本年度の主な事業の概要を紹介します。